

福島県総合計画改定中間整理に対する県民意見について

1 パブリックコメント

- | | |
|------------|-------------------------|
| (1) 意見募集期間 | 平成24年9月10日(月)～10月10日(水) |
| (2) 意見提出者 | 22名 |
| (3) 提出意見 | 145件 |

主な意見

- 復興ビジョンの原子力に依存しないという基本理念を総合計画でも継承すべき
- 時代潮流の人口減少・高齢化については原子力災害の問題を前面に出した書き方にすべき
- 保養など子どもたちの健康を守る取組が必要。
- 男女共同参画の考え方は、震災や原発事故により重要性が下がるものではないので、今までのようにふくしまの礎として位置づけるべき。
- 多様性の尊重は、目指す将来の姿の全体的な指針とすべき。
- 目指す将来の姿で「福島県のうり」は何かが見えない。文面から福島県だとわかるような何かが欲しい。それが今後の福島県の方針にもなる。
- 出産・子育てでは放射能の影響に対する情報提供が必要。
- 震災の教訓を反映させた教育が必要。
- 森林除染について触れられていないのではないかな。
- 原子力災害対策は安全と安心の最初に位置づけるべき。
- 相双地域について、現状を踏まえた地域区分とすべき。

など

2 地域懇談会

(1) 開催日・地域

- 平成24年 9月24日(月) 県南地域
- 平成24年10月 2日(火) いわき地域
- 平成24年10月 3日(水) 南会津地域
- 平成24年10月 4日(木) 県北地域
- 平成24年10月 4日(木) 相双地域(広野町、楢葉町、富岡町、大熊町)
- 平成24年10月 9日(火) 相双地域(川内村、双葉町、浪江町、葛尾村)
- 平成24年10月10日(水) 県中地域
- 平成24年10月11日(木) 相双地域(相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村)
- 平成24年10月15日(月) 会津地域

(2) 参加者 75名(うち審議会委員16名)

(3) 意見数 119件

主な意見

- 放射線問題で活用できなくなった里山を今後どう生かしていくのかが問われている。
- 県産農産物の安全について正しい理解を持ってもらう取組が必要。
- 企業誘致を進め、雇用の場の確保、創出が必要。
- 放射能に対するリスクコミュニケーションが課題。
- 福島が再生しているというアピールがもっとあってよい。
- 常磐自動車道、国道6号線などの道路を早急に整備すべき。
- 復旧・復興に向けて必要なのでは除染であり、地元の企業や住民と一緒にやって除染を行うことが地域の復旧・復興につながる。
- 郷土愛を喚起し、ふるさとを忘れさせない教育が必要。
- 被災した子どもの長期的な心のケアが必要。

など